

Q.SOMの変数はどうしているのか。

A. 適合画像を5枚ずつ、16組にしているのでマップ数は4*4にしています。
その他変数は少しずつ変更し、最適になるものを経験的に選択しました。

Q. エッジだけでなく他の特徴量との組み合わせも作らなければならないのでは。

A. すでに色、テクスチャ特徴のシステムは実装済みで今回の発表はエッジのみに言及したものです。

Q.SOMを用いたために方向余弦距離を用いなければならなくなったのでは。

A. エッジ画像を0/1の画像にしているのではなく、YIQ空間に移した際のY値のみを利用して濃淡画像であるためSOMを用いなくても方向余弦距離を用いる必要があります。

Q. 実験を他のエッジ手法とも比較したほうが良いのでは。

A. そのとおりだと思います。ご指摘ありがとうございます。